

【情報公開文書】

1. はじめに

京都大学大学院医学研究科 免疫細胞生物学 准教授 吉富啓之を研究責任者とし、炎症にて生じている免疫機構を研究することにより、炎症性疾患や自己免疫性疾患の新たな治療につながるような免疫現象の解明を目指し研究を行っています。本研究は京都大学医の倫理委員会にて審査され京都大学医学部附属病院長に承認されたものです。

2. 研究課題名

炎症組織浸潤リンパ球の解析

3. 研究の目的

本研究では、炎症で生じている免疫現象を解明し、炎症病態や自己免疫疾患の新たな治療へとつながる知見を得ることを目的としています。

4. 研究期間

2026年3月31日までの研究が承認されています。将来的に研究の延長を申請することを予定しています。

5. 利用または提供する試料・情報の項目

本研究にて新しく募集する検体やその情報以外に、これまで既に得られている下記の試料や情報を用いて研究を行います。

(試料) 研究計画「病理組織材料の診療目的外使用」(第603号)、「生体試料の保管と将来の研究利用についての説明文書」(1056号、R0097号)にて採取された生体試料

(情報) 研究に使用する生体試料に関する性別、疾患名、年齢、診療情報

2012年3月から2026年3月の間に、京都大学医学部附属病院耳鼻咽喉科 ならびに口腔外科において扁桃腺炎、副鼻腔炎、橋本病、バゼドウ氏病、シェグレン症候群、唾液腺炎、歯周病等の炎症疾患の診断、治療中、治療後に扁桃、鼻茸、リンパ節、唾液腺、口腔粘膜などの炎症組織を採取された方

6. 試料・情報の利用目的・利用方法

生体試料における炎症に関連する遺伝子の発現を免疫染色やRNA定量にて解析する。

7. 主な共同研究機関

該当なし

8. 試料・情報の管理について責任を有するものの氏名

京都大学大学院医学研究科 免疫細胞生物学

准教授 吉富 啓之

9. 研究資金・利益相反

研究資金は文部科学省の科研費とAMEDから資金を得ており、特定の企業からの資金提供を受けておりません。

利益相反について、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査されています。

10. 連絡先

本研究に関する研究に関する資料の閲覧（個人情報ならびに知的財産の保護等に支障がない範囲になります）を希望される方、研究への利用の中止や外部への提供の停止またはその他の相談を希望される研究対象者の方は、下記連絡先までご連絡ください。

吉富啓之・京都大学大学院医学研究科 免疫細胞生物学・准教授

電話 075-753-4435

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

電話 075-751-4748、E-mail ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp